

# 令和4年度の養浜工事実施計画案

資料-5



R4.11.16撮影

神奈川県藤沢土木事務所なぎさ港湾部

**令和4年度は、今後の養浜計画を立案するための基礎データを収集することを目的として試験養浜を行う。**

- ・ 粒径別の歩留りを確認するため、粒径分布が分散している養浜砂を使用。**
- ・ 波浪の卓越方向・施工性を考慮し、鎌倉プリンス駐車場の東側に盛土し、漂砂状況をモニタリング。**

# ① 養浜材について

相模川(平塚市田村)の堆積土を養浜材として活用。( R4.1月~2月に柳島受入)  
中央粒径は約2.8mm。



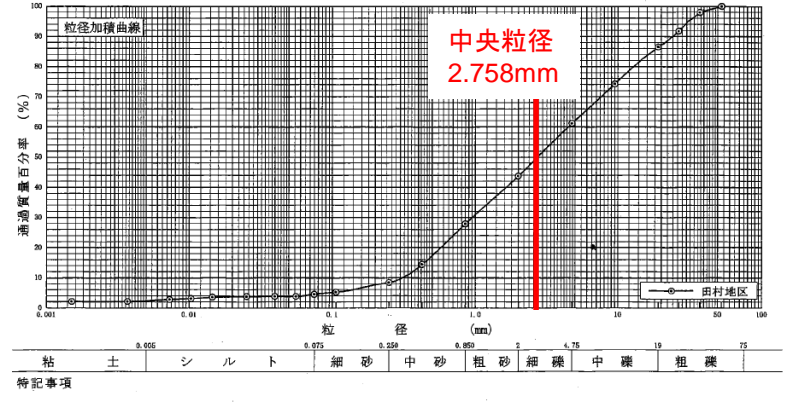
土粒子の粒径区分と名称

		粒 径 (mm)										
		0.005	0.075	0.25	0.85	2	4.75	19	75	300		
粘土	シルト	細砂	中砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫	粗石(コブル)	巨石(ボルダー)			
		砂			礫			石				
細粒分		粗粒分						石分				

JIS A 1204 土の粒度試験(粒径加積曲線)  
JGS 0131

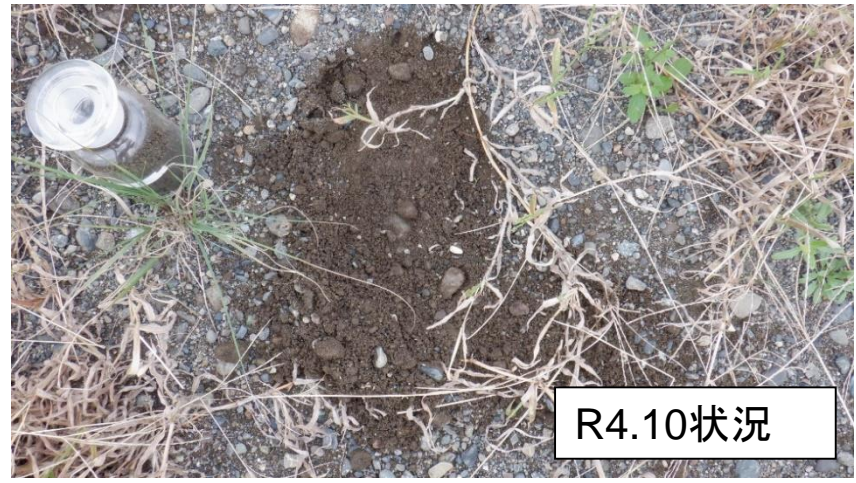
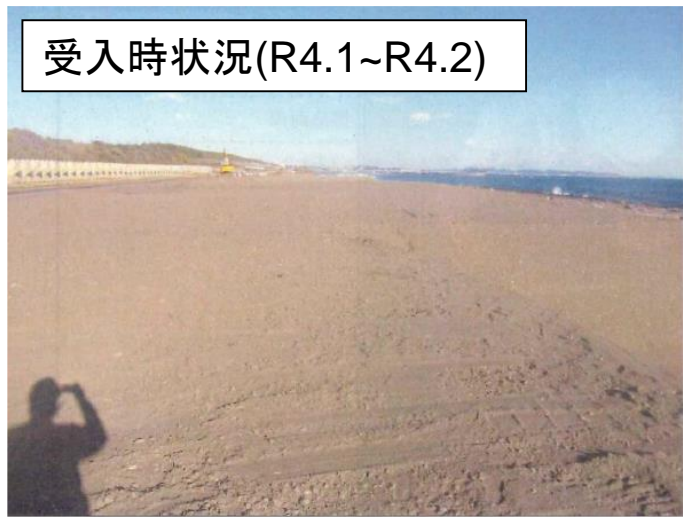
調査件名 R2相模川田村河道掘削他工事 試験年月日 2021年 12月 1日

試験者 藤森 学		田村地区		試験番号(深さ)		田村地区	
ふるい	粒径 mm	通過質量百分率 %	粒径 mm	通過質量百分率 %	粗 礫 分 %	13.5	
	75		75		中 礫 分 %	25.3	
	53	100.0	53		細 礫 分 %	17.5	
	37.5	98.0	37.5		粗 砂 分 %	15.8	
	26.5	91.8	26.5		中 砂 分 %	19.5	
	19	86.5	19		細 砂 分 %	3.9	
	9.5	74.3	9.5		シルト分 %	2.2	
	4.75	61.2	4.75		粘土分 %	2.3	
	2	43.7	2		2mm 以下の通過質量百分率 %	43.7	
	0.850	27.9	0.850		425μm 以下の通過質量百分率 %	14.4	
0.425	14.4	0.425		75μm 以下の通過質量百分率 %	4.5		
0.250	8.4	0.250		最大粒径 mm	53		
0.106	5.2	0.106		60% 粒径 $D_{60}$ mm	4.496		
0.075	4.5	0.075		50% 粒径 $D_{50}$ mm	2.758		
0.0561	3.8			30% 粒径 $D_{30}$ mm	0.955		
0.0397	3.8			10% 粒径 $D_{10}$ mm	0.311		
0.0251	3.8			均等係数 $U_c$	14.46		
0.0145	3.5			曲率係数 $U_c'$	0.65		
0.0103	3.1			土粒子の密度 $\rho_s$ , g/cm <sup>3</sup>	2.735		
0.0073	2.8			使用した分散剤	ヘキサメチレンジトリウム		
0.0037	2.1			溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml		
0.0015	2.1			20% 粒径 $D_{20}$ mm	0.574		



# ①養浜材（柳島ストック状況）

現在は、植物が生育している状況となっている。  
養浜材として搬出する際は、表層除去（植物の撤去）を実施する。



# ① 養浜材（外来種）

植生調査では、七里ガ浜地区では確認されていない外来種で、生態系被害防止外来種リストの掲載種である「シナダレスズメガヤ」等が確認されている。

土砂内に残った種子（埋土種子）が養浜後に発芽する可能性がある。



## 【柳島のみで確認された外来種】

生態系被害防止外来種リストにおける指定種

- ・シナダレスズメガヤ
- ・ヤナギハナガサ

帰化種（リスト掲載外の外来種）

- ・メマツヨイグサ
- ・シロツメクサ

# ②養浜計画【予定】

## ■事業概要



【参考】平成24年6月写真

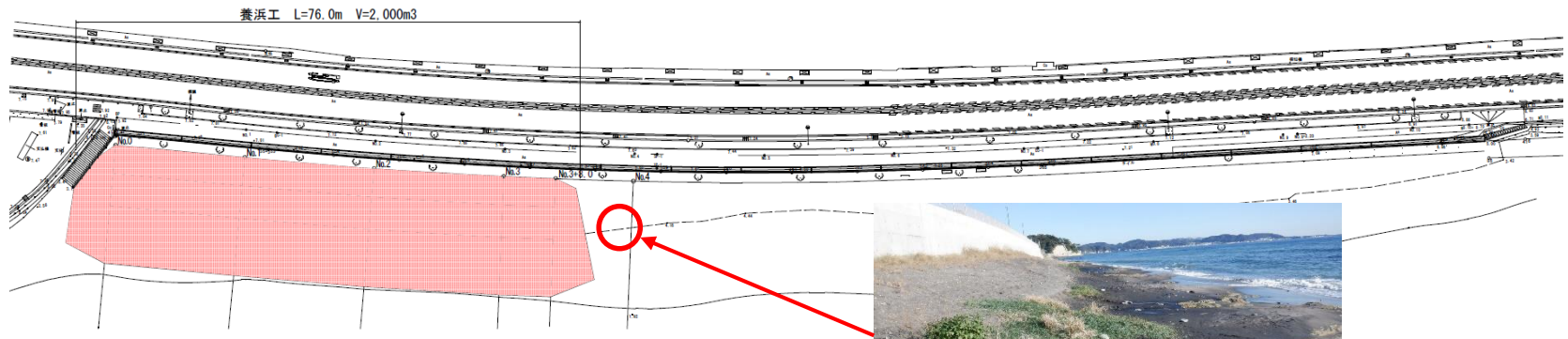


【参考】平成24年6月写真



# ②養浜計画【予定】

## 平面図



## 標準断面図

